



Japan  
Handball  
Association



<input type="checkbox"/>	社会人
<input type="checkbox"/>	学生
<input type="checkbox"/>	高専
<input type="checkbox"/>	高体連
<input type="checkbox"/>	中体連
<input type="checkbox"/>	小学生

<input type="checkbox"/>	全国大会
<input type="checkbox"/>	ブロック大会
<input type="checkbox"/>	都道府県大会

<input type="checkbox"/>	男子
<input type="checkbox"/>	女子

試合 番号	34
----------	----

年月日	2023 年 3 月 27 日 (月)
大会名	令和4年度 第46回全国高等学校ハンドボール選抜大会 Presented by MIZUNO

## 公 式 記 録 用 紙

A	県立藤代紫水高等学校										興南高等学校										B
都道府県 三重県			市町村 津市				会場 サオリーナ メインAコート										回戦 準々決勝				
前半	A 13	B 16	最終 結果	A 29	B 26	第1 延長	A	B	第2 延長	A	B	7m追加 コラット	A	B							
7m得点/総数		A 1/1	チームタイムアウト									チームタイムアウト			B 2/2	7m得点/総数					
			1 2033	2 後 2457	3 2905							1 1400	2 後 1811	3							

No.	藤代紫水	G	W	2'	D	DR	No.	興南	G	W	2'	D	DR
1	齋藤 慧遵						1	石田 龍ノ介					
2	山本 隼司						2	宜寿次 政伍	5		2		
3	藤井 悠輔	6					3	山内 涼平					
4	飛澤 翔	1		1			4	屋比久 侑矢					
5	大橋 真人	7					5	比嘉 優太郎					
6	牛丸 三士朗	6		1			6	嵩西 遥斗					
7 c	生鷹 頼太	3					7 c	洲鎌 史成	2				
8	小久保 穰	6					8	梅木 皓平	7				
9	大友 克海						9	儀間 颯真	2				
10	水野 聖愛						10	高吉 航太					
11	茅場 蒼太						11	下地 叶也					
12	上西 光生						12	町 アンドリュー					
13	瀬霜 孝介						14	大城 翔太郎	6				
14	栗山 摺世						15	平良 育夢					
15	上野 良祐						16	伊是名 優真					
17	山崎 琉偉						17	比嘉 泉稀	4		1		
監督A	小倉 慶輔						監督A	照屋 喜隆					
役員B	滝川 一徳						役員B	黒島 宣昭					
役員C	会田 亮祐						役員C	森田 和磨					
役員D	尾中 祐二						役員D	親富祖 瑠					

A	チーム役員A署名										B
---	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---

特記事項

レフェリー	駒谷 研志	波多野 祐介		
TD	栗田 顕	松田 一真		
MO	疋田 雅己			

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

試合 番号	34	男子 [ ① ]
----------	----	-------------

令和4年度 第46回全国高等学校ハンドボール選抜大会  
Presented by MIZUNO

試合結果・戦評報告書

競技日	3月27日 (月)	会場	サオリーナ メインAコート		
種別	男子		回戦	準々決勝	
Aチーム名			Bチーム名		
県立藤代紫水高等学校			興南高等学校		
得点合計	小計	period	小計	得点合計	
29	13	前半	16	26	
	16	後半	10		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			
戦評			記載者氏名	中森一郎	
<p>興南と藤代紫水の対戦は、1点を争う好ゲームとなったが、前半の劣勢を逆転した藤代紫水が勝利して、準決勝に進出した。前半、興南がNo.7洲鎌のフェイントシュート、No.2宜寿次のステップシュートなどで先制すれば、藤代紫水がNo.5大橋のミドルシュート、No.6牛丸のポストシュートなどで得点して、8分3対3の立ち上がり。しかし藤代紫水は11分からNo.5大橋、No.8小久保、No.6牛丸らで5点を連取して15分9対5と序盤をリードする。ここで藤代紫水No.9大友が負傷退場するアクシデントがあり試合が中断する。再開後、興南は反撃に転じNo.14大城、No.8梅木で3点を連取、7mTで1点を返されるもNo.17比嘉、No.8梅木らでさらに4点を奪って逆転に成功する。藤代紫水もNo.3藤井、No.4飛澤らで食い下がるが、興南はNo.9儀間のサイドシュート、No.14大城のポストシュートなどで譲らず、前半終了間際No.17比嘉の速攻が決まって、3点リードで折り返した。後半立ち上がり、興南はNo.17比嘉、No.14大城でリードを5点に広げる。藤代紫水もNo.6牛丸、No.5大橋らで得点するが、興南GKNo.1石田の好守もあり、連続得点が奪えない。しかし6分すぎから、No.6牛丸、No.8小久保らでじりじりと差を詰め、16分No.8小久保のカットインシュートが決まって22対22と同点に追いつくとさらにNo.3藤井、No.8小久保で逆転する。興南もラスト5分オールコートのマンツーマンディフェンスを試み、No.7洲鎌、No.2宜寿次らで食い下がったが、藤代紫水もNo.3藤井、No.7生鷹らが要所で加点して29対26の3点差で勝利し準決勝進出を決めた。</p>					